※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校改訂　新化学基礎（第一学習社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる」小・中学校での理科の学習を終えて、人と自然について「物質の成り立ち」、「物質の変化」、という２つの視点を見ると、どのように見えてくるのか？どのように生き、行動すれば人と自然を大切にし、健康な生活を送れるのか？この２つの問題を常に意識して、学び考え続けてください。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目標意識を持って観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的に概念や原理法則を理解させ科学的な見方や考え方を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身につけている。	物質とその変化について問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	物質やその変化に関する観察や実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	物質とその変化について、基本的な概念や知識・法則を理解し、身につけている。
評価方法	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況 観察・実験の記録	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	化学と人間生活	化学と人間生活とのかかわり 単体・化合物・混合物	○	○	○	○	a:日常生活や社会を支える物質の利用とその製造に関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b:洗剤や食品添加物など日常生活や社会で使われる物質の適切な使用量について考察し、導き出した答えを表現している。 c:単体・化合物・混合物に関して、物質の分離・精製や元素の確認などの観察・実験を行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:種々の金属やプラスチックの性質の違いを理解し、知識を身につけている。	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況 観察・実験の記録
前期 後期	物質の構成	物質とその構成要素 化学結合	○	○	○	○	a:物質が原子や分子からできていることや原子の成り立ちについて、関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b:イオン結合でできた物質の性質や用途について考察し、導き出した考えを表現している。 c:水素や酸素、アンモニアなどの気体を発生させ性質を調べる実験を行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:金属結合は自由電子が介在した結合であることや金属結合でできた物質の性質を理解し、知識を身につけている。	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況 観察・実験の記録

※令和３年度以前入学生用

後期	物質の変化	物質量と化学反応式 酸･塩基とその反応 酸化還元反応	○	○	○	○	a:粒子の数に基づく量の表し方である物質量について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:化学反応における物質の変化と量的関係について考え、化学反応式で表現できている。 c:身近な物質や塩の水溶液のpH 測定、中和滴定の実験を行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:酸化還元反応について、電子の授受で説明できることを理解し、知識を身につけている。	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況 観 察・実 験の記録

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。